

# 風速マトリックス 取扱説明書



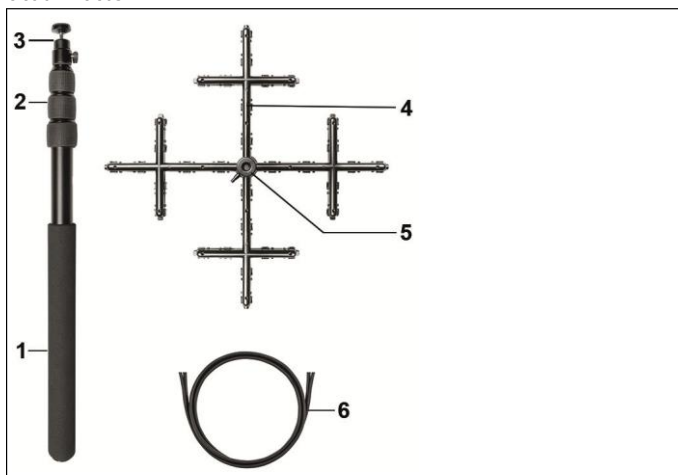
## テクニカルデータ

測定部 寸法	約 360 x 360 mm
伸縮式ロッド 長さ	~ 1800 mm
ピトー管係数	0.82
推奨の風速範囲 (testo 420 dP)	0.2 ~ 14 m/s

## アプリケーション

風速マトリックスと差圧計と組み合わせて、クリーンルームのHEPAフィルタや安全キャビネット等、大型の吹出口からの層流を測定することができます。

## 各部の名称



- 1 ハンドル
- 2 伸縮式ロッド (長さ: ~ 1.8 m)
- 3 ボール雲台
- 4 測定部 (測定孔: 16ポイント)
- 5 チューブ接続部
- 6 シリコンフリーチューブ × 2本 (長さ: 2 m)

## 風速の演算

演算機能付きの差圧計では、ピトー管係数（0.82）を設定して、以下の計算式で風速値が算出されます。

$$V = Sx \sqrt{\frac{2 x P_{dyn}}{\rho}}$$

S: ピトー管係数

$P_{dyn}$ : 動圧 (Pa)

$\rho$ : 空気密度 ( $\text{kg/m}^3$ )

## 測定

1. 同梱品のチューブの片側を風速マトリックスに接続してください。
2. 面ファスナーでチューブを伸縮式ロッドに固定してください。



面ファスナーでチューブをきつく締めすぎないようにしてください。伸縮式ロッドの長さを調整する際にダメージが生じる可能性があります。

3. チューブの反対側を差圧計に接続してください。テストでは testo 420 dP や testo 400 を推奨しています。  
チューブが正しく接続されていることを確認してください。
4. 差圧計の電源を入れて、適当な測定モード（ピトー管風量モード等）を選択し、ピトー管係数を0.82に設定してください。
5. 測定部を、給気口の測定面から約5センチ離して固定し、全面でまっすぐ層流を受けていることを確認してください。



ピトー管係数や面積の設定方法については、使用中の差圧計の取扱説明書をご参照ください。

---

